

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												炭疽	ProMED-mail20070414.1247 ProMED-mail20070417.1271 ProMED-mail20070420.1298	70399Jに同じ
												炭疽	ProMED-mail20070518.1586	70399Jに同じ
402	2007/08/23	70402	アステラス製薬	パミテプラーゼ(遺伝子組換え)	CHO細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	東京大学医学研究所から入手した細胞株	製造工程	無	無	無			
403	2007/08/24	70403	日本製薬	①加熱人血漿たん白 ②人血清アルブミン(5%) ③人血清アルブミン(20%) ④人血清アルブミン(25%) ⑤乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン ⑥トロンビン ⑦乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ ⑧人免疫グロブリン ⑨乾燥人血液凝固第Ⅲ因子複合体	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	①～⑥製造工程 ⑨添加物・製造工程	無	無	無			
404	2007/08/24	70404	ヘネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	人原	中国	有効成分	有	無	無	梅毒	Lancet 2007; 369: 132-138	中国の性感染症サーベイランスシステム及び監視サイトネットワークからの症例報告データを収集し評価した。中国における報告された梅毒の全症例発生率は、1993年には100,000人あたり0.2例であったが、2005年には、第一期及び第二期梅毒だけで100,000人あたり5.7例であった。先天性梅毒の発生率は、1991年には100,000例の出生児あたり0.01例であったが、2005年には100,000例の出生児あたり19.68例まで、年平均71.9%の割合で大きく増加した。